

新型コロナと人生100年時代

—メディアに求められる新たな提案力・分析力—

「人生100年時代」といわれる。健康、生きがい、年金、住まいなど人生後半には、さまざまな要素が絡んでいるのに言葉だけが一人歩きしている。政府は70歳まで働く機会を確保するよう企業に求めており「70歳現役社会」も現実味を帯びている。そんな中に襲ってきた新型コロナウイルス。感染防止が最重要となり「新たな生活様式」が求められるようになった。コロナとともに生きる時代になった今、メディアは何をどう報じていけばいいのか、的確な視点・論点を提示できているか。提案力・分析力が問われている。

日時 **2020年 11/7 (土)**
13:00~16:00
(12:30 受付開始)

場所 **プレスセンターホール**
(日本プレスセンタービル 10階)

登壇者



養老 孟司 [解剖学者]

1937年神奈川県生まれ。東京大名誉教授。専門の解剖学や趣味の昆虫採集で得た自然観、死生観を基に社会や文化を広く論じる。1989年「からだの見方」(筑摩書房)でサントリー学芸賞を受賞。2003年に出版された「バカの壁」(新潮新書)は440万部を超える大ベストセラーに。他に「解剖学教室へようこそ」(筑摩書房)、「唯脳論」(青土社)、「遺言」(新潮新書)など著書多数。

楠木 新 [神戸松蔭女子学院大学教授]



1954年兵庫県生まれ。京大法学部卒。生命保険会社に入社し人事・労務関係をはじめ総合企画、支社長などを経験。会社勤務の傍ら、50歳から「働く意味」などをテーマに取材や執筆、講演に取り組む。2015年に定年退職し、18年に神戸松蔭女子学院大教授。著書に「人事部は見ている。」(日本経済新聞出版)、「定年後50歳からの生き方、終わり方」(中央公論新社)、「会社に使われる人 会社を使う人」(角川新書)など多数。

岸本 葉子 [エッセイスト]



1961年神奈川県生まれ。東京大卒。会社を退職後、中国留学を経て文筆生活に。がんや介護の体験を含めた自身のシングルライフをテーマにエッセーを多数発表。小説や俳句に活動の幅を広げるほか、放送倫理・番組向上機構(BPO)の放送倫理検証委員も務める。近著に「50代からの疲れをためない小さな習慣」(佼成出版社)、「50代、足していいもの、引いていいもの」(中央公論新社)など。

オンライン参加可

会場参加は40人まで

プログラム

13:05	【第1部】基調講演 養老 孟司氏
14:05	休憩
14:15	【第2部】パネルディスカッション [パネリスト] 養老 孟司氏 楠木 新氏 岸本 葉子氏 小林 伸年氏
16:00	終了

コーディネーター

松本 真由美 [東京大学教養学部客員准教授]



熊本県出身。上智大外国語学部卒業。大学在学中にテレビ朝日の報道番組のキャスターになったのをきっかけに、報道番組のキャスター、リポーター、ディレクターとして幅広く取材活動を行う。2008年より東京大学における研究、教育活動に携わる。東京大学での活動の一方、講演、シンポジウム、執筆など幅広く活動する。

小林 伸年 [時事通信解説委員長]



東京都出身。1986年時事通信入社。静岡総局、横浜総局、本社内政部、シドニー特派員、内政部長、長野支局長、海外速報部長等を経て2019年7月より現職。内政部時代は主に社会保障、公共事業、地方財政を担当した。「人口減少時代の行政施策」「効果的な自治体広報」などをテーマに地方自治体の職員研修会などで講演しており、「全論点 人口急減と自治体消滅」「自治体PR戦略 情報発信でまちが変わる」(いずれも時事通信出版局)を監修。

公益財団法人 新聞通信調査会 シンポジウム
新型コロナと人生100年時代

参加費
無料

オンライン参加

申し込み方法

- 新聞通信調査会ホームページから
<https://www.chosakai.gr.jp>

新聞通信調査会

検索

- QRコードから直接



申し込み締め切り日 **11月4日(水)**

※11月5日以降にご登録いただいたメールアドレスに
参加URL等の情報をお送りします。

会場参加

申し込み方法

- 新聞通信調査会ホームページから
<https://www.chosakai.gr.jp>

新聞通信調査会

検索

- QRコードから直接



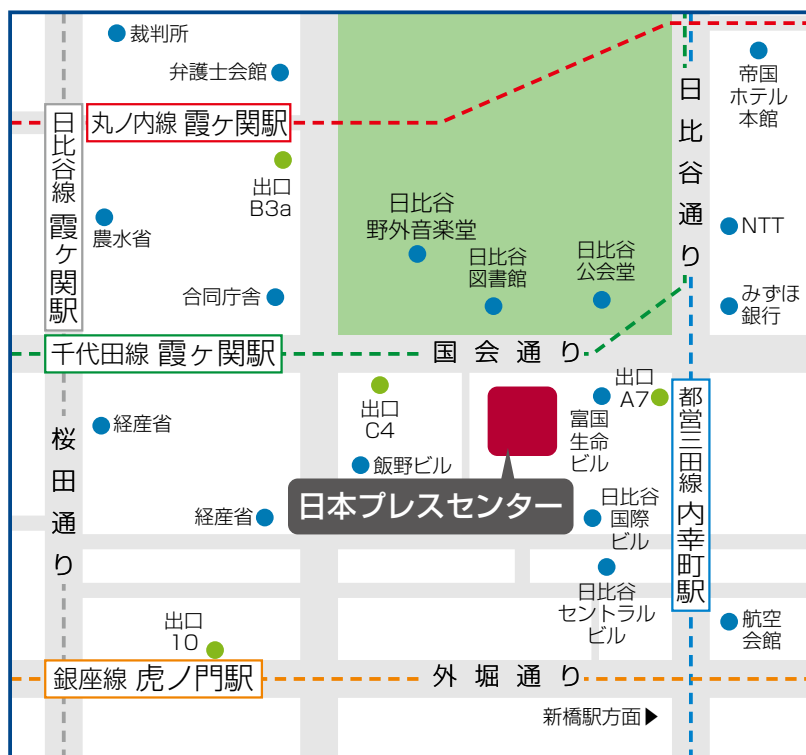
定員 **40人** (先着順)

申し込み開始日 **10月5日(月) 午前10時~**

※上記日時より前には申し込みできませんのでご注意
ください。

※ご来場の際はマスクの着用をお願いいたします。

【お問い合わせ先】公益財団法人 新聞通信調査会 ✉ chosakai@helen.ocn.ne.jp



交通
アクセス

プレスセンターホール (日本プレスセンタービル 10階)

東京都千代田区内幸町2丁目2-1

- ▶千代田線・日比谷線「霞ヶ関」駅
……………C4 出口より徒歩2分
- ▶丸ノ内線「霞ヶ関」駅
……………B3a 出口より徒歩5分
- ▶三田線「内幸町」駅
……………A7 出口より徒歩2分
- ▶銀座線「虎ノ門」駅
……………10 出口より徒歩7分